



第 11 号 平成26年10月
 発行 番町小学校同窓会
 〒102-0085 千代田区六番町 8
 東京都千代田区立番町小学校内
 TEL 080-3012-1001 FAX (03)3263-3731
 郵便振替口座 00160-7-352085
 編集 番町小学校同窓会事務局
 印刷 株式会社 精興社

東日本大震災により被害を受けた方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を祈念致しております。また今年も、夏には広島での大規模な土砂災害、9月末の御嶽山の噴火。さらには10月上旬の週末ごとの台風と自然災害が続きました。亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被害を受けた方々に心よりお見舞い申し上げます。

会員の皆様には如何お過ごしでしょうか。平素は、同窓会にご理解とご支援を頂き深く感謝申し上げます。現在同窓会は、岩瀬会長の掲げられた方針に基づいた活動を行うため、会則の見直しを進めています。現段階では会員の皆様にご報告するまでに至っておりませんが、学年理事会・幹事会を通して皆様のご意見を最大限吸収し、同窓会をよりよい方向に進めていきたいと思っております。と同時に、『番町小学校が「末永く存続する為」に必要な基盤の強化と地道な活動を行う』ための事業を企画・立案しています。例えば9月末に、今年度初めて開催した『同窓会U-45 (仮称)』、そしてHome Coming Day当日に開催を予定している、65歳以上の同窓生を対象とした『OBOGの集い (仮称)』もその一環です。同窓会には、下は13歳から上は90歳を超える幅広い年齢の会員が10,000名近く所属しており、年齢層によって同窓会への要望やニーズが違います。けれども、上記のような年代ごとの同窓会、そして既に毎年開催している『同窓会U-20』、将来の同窓生である子どもたちが対象の『番町子ども会』などを通じて、会員の皆様にもまず同窓会に関心を持って頂くことが、番町小学校が「末永く存続する為」に必要な基盤を生み出すことにつながっていくと考えます。

同窓会U-45(仮称)について

同窓会事務局 中村香織

平成26年9月28日(日)、第一回『同窓会U-45(仮称)』が開催されました。



『同窓会U-45(仮称)』とは、今年度から企画された25歳から45歳前後の会員の皆さんを対象とした同窓会です。

公適配と絡んだ前体制の同窓会からの移行期間だったため、特に30代～50代初めの会員の方々には同窓会からの働きかけが少なく、そのためか他の年代より連絡先不明の方が多くいらっしゃいます。また、仕事が忙しいあるいは子育て真っ最中の世代であることや、インターネットやSNSの発達もあってか、同期やクラス、同窓会とのつながりに希薄さを感じられるような気がします。

現在同窓会は、同窓会という組織に慣れ親しんで頂くように、毎年3月末に番町小学校の講堂で、卒業したての12歳～21歳までの会員向けに『同窓会U-20』を開催しています。今年で10回目を迎えましたが、毎年200名近くの参加があり、「同期のつながりを保てるので、毎年の開催を楽しみにしている。」「1年に1回、みんなで集まる機会になるので、22歳以降もこのような会があるといい。」というご意見も寄せられるようになりました。そこで、20代の会員のニーズに答えると同時に、同窓会の働きかけが少なかった年代の会員の方々に気楽に参加できる場を提供し、同期や先輩・後輩、同窓会とのつながりを作って頂くため、『同窓会U-45(仮称)』を企画致しました。

さて、当日ですが、会場は番町小学校から徒歩2分の「メゾン・セルバンテス」。このお店は六番町にあるセルバンテス文化センター東京の最上階にあります。同窓生の同期会やクラス会によく利用されています。

36名の方にご参加頂き、会長以下役員を含める

と50名弱の出席でしたが、盛大にとまではいかないまでも終始和気あいあいとした雰囲気の中、2時間はあっという間に過ぎていきました。当初、申込みは44名でしたが、仕事の都合で急に欠席という連絡が多かったのも、忙しい世代の象徴のようで印象的でした。同級生同士で誘い合わせていた学年も見受けられましたが、ほとんどがお一人での参加で、会場に入ってきた時には知っている顔があるか、緊張しているように感じました。

しかし、それも始まってしまいうまで。同級生同士はもちろん、前後の学年や兄弟姉妹のつながりから輪ができて、思い出話に花が咲いていました。花が咲きすぎて予定していた出席者の自己紹介ができなかったり、機械の不調で『同窓会の活動と番町小学校の今』をお目かけられなかったりのアクシデントがありましたが、次回に向けて、担当もいろいろ勉強になりました。

天気にも恵まれ、テラスでお酒を飲み、パエリアやイベリコ豚のアサードを食べながらのおしゃべりも気持ちよさそうでした。開放的で眺めのよい店内やテラスからは、ビルの間から番町小学校の屋上が少しだけ見えます。2年前に全面芝生となった屋上は、秋の陽の中で青々としていました。

駅からの道の風景は通っていた頃と変わっていても、懐かしさがこみ上げてきますね。参加された皆さんは如何だったでしょうか。

『同窓会U-45（仮称）』は、今後も継続して開催予定です。来年は6月に開催を予定しておりますので、該当の会員の方々にはご連絡を差し上げます。ふるってご参加ください。

また『同窓会U-45（仮称）』のネーミングを、募集中です。



『同窓会U-45』アンケート結果

回収 (29/36)

●同窓会に求めるものは何ですか？（複数回答可）

○同期とのつながり	27
○先輩・後輩とのつながり	17
○お世話になった先生方との交流	16
○名簿（発行、同期会への活用、その他（ ）	9
○異業種交流	9
○ゴルフコンペなどのイベント（ ）	1
○小学校や同窓会の歴史を手軽に参照・閲覧したい	3
○現在の小学校の様子を知りたい	8
○その他（出来るだけ詳しくお書き下さい）	

●U-45について、ご意見がありましたらお願いします。

- ・初企画有難うございました。とても嬉しく楽しい一時でした。今後ますますのつながりを期待したいです。
- ・思いがけない出会いがありました。楽しい時間を過ごせて、本当に有難うございます。これから学年の「まとめ」を頑張りたいと思います。
- ・今日は有難うございました。
- ・ぜひまたよろしくお願いします。今日は楽しい一時でした。
- ・妹に誘われて何気なく参加しましたが、色々な年代の方とお話できてすごく楽しかったです。
- ・楽しかったです。次回も参加したいですね。開催、有難うございました。
- ・とても楽しい企画でした！有難うございました。またやりたいです。
- ・本当にすばらしい会を有難うございました。
- ・今回、このような機会を作って頂き有難うございます。又、参加します。
- ・毎年お願いします。
- ・もっとたくさんの人とつながるといいですね、これをきっかけに。
- ・U-45以外の名前でも企画してほしい。もう少し時間に余裕があれば、もっと多くの人と連絡が取れたと思う。
- ・各期のクラス会・同期会の補完・拡充を目的として開催するのは、同窓会活性化の手段として大賛成です。
- ・ビンゴ
- ・開催時間が微妙な設定。昼か夜かどちらかの方がよかった。



～同期会・クラス会報告～

同期会開催

1組幹事 荒井 宏

平成24年の創立記念日直後の12月8日（土）に、あと4ヶ月弱で卒業満40年となる、昭和47年度（第100回）卒業生の同期会を開催致しました。クラス会は開かれていたものの、クラス横断的な同期会は卒業以来の開催となりました。

声掛けさせてもらった各クラス幹事で7月にキックオフの打ち合わせをし、同期の卒業生4クラス194名中、ミニマムの出席目標を50名と決めました。幸いなことに、4組幹事の生原宗典（赤畑寿哉）君の尽力により維持管理されていた同期生の名簿がありました。時の経過とともに、新鮮さが減退してしまう現実に直面し、まずは、連絡先の再確認と様々な方法を駆使しての更なる連絡先の収集に努めました。



そして、Home Coming Dayと同日開催ということで同窓会とも連携を図り、会場も番町小学校に近い六番町の「メソン・セルバンテス」と致しました。

担任の先生方だけでなく芸術系をご指導下さった先生方にもご連絡を差し上げ、2組担任の島田先生、音楽の岩上先生、図工の西野先生と3先生のご出席の内諾を頂戴しました。案内状を郵送してからの返信期間にも連絡先未把握の同期生の情報が複数寄せられ、追加の案内が出来ました。

当日は、幹事挨拶（3組幹事・番町小学校愛育会前会長 瀬谷達郎君）、西野先生のご講話、逝去された先生方及び同期生への黙祷、島田先生のご訓示と乾杯のご発声、岩上先生の著書「光り耀く子どもたち」の紹介、歓談、出席者の紹介、和音

の練習とレパトリーとして全校ページェント『大合唱』・卒業式の歌『行けや友よ』・5年生で岩上先生にご指導いただいたオペラ「ロバと山びこ」から『山びこの合唱』、岩上先生のレパトリーに対するご講評とお話、岩上先生の指揮で校歌斉唱、記念撮影、閉会という次第でした。

同期会には、3先生のご臨席に61名の同期生が参集し、四番町に会場を移した二次会から新たに5名が加わり、都合66名の同期生と集い、再会の喜びを分かち合いました。中でも2組は、担任の島田先生のご参加と幹事の篠崎（旧姓：桑澤）英恵さんからの輪の広がりにより、ほぼ半数が出席となる結束力の高さを示しました。



更に、同期生が経営する青山のお店での三次会にも展開して、私の帰宅時刻は午前3時近くになり、午後2時半開始のHome Coming Dayから丸々半日、番町の同期生と過ごしました。

卒業以来40年の年月を経ての同期会で、幹事手探りの中、数々の不行き届きのお詫び、ご来臨賜りました3先生への大きな感謝、同窓会の中村久美子先輩をはじめ諸先輩・事務局の皆様や現役の番町小学校関係者の皆様及び「メソン・セルバンテス」・二次会・三次会の会場のスタッフの皆様へのお礼、他クラス幹事への労いを謹んで申し上げます。

（追記）

同期会の余韻の残る年明け2月3日（日）に、当日、健康上、ご出席が叶わなかった1組担任の瀧井先生のご自宅を有志で訪問申し上げ、当日の写真とともに同期会を報告し、お元気な先生とお会いしてお話することが出来ました。同期会以降、番町同期生のともし火が一挙に輝きを増し、絶え間なく、いずれかのクラスで集いが開かれていることを申し添えます。

昭和49年度同期会

幹事 竹川勝治

平成26年1月19日、島田先生、正田先生、岩上先生をお迎えして、番町小学校に集合。その後、六番町の「メゾン・セルバンテス」で同期会を開催しました。先生方から温かいお言葉やご指導を頂き、友人たちとの歓談、記念撮影、校歌斉唱を行いました。終了時間になっても名残は尽きず、二次会、三次会と再会の宴が続きました。



「98会(S45年度卒)2014年同期会」 のご報告

幹事一同（松川・青柳・小岩・片岡・鈴木・阿部）*旧姓にて記載

平成26年5月24日（土）午後、母校講堂をお借りして同期会を開催しました。



低学年ご担任の戸島照子先生と音楽の岩上廣志先生にお越し頂き、同期生のお母様や二次会参加者（於プラザF）を含め40名の出席でした。

同期生によるテノール独唱や篠笛、ピアノやバイオリンの演奏もあり、美しい調べに皆、感動致しました。また岩上先生の指揮により「みどりのそよ風」全校ページェント「希望の町」や「児童会の歌」「行けや友よ」を合唱。そしてもちろん

「校歌」で締めくくりました！ かつての器楽部員たちが事前に音楽室でアコーディオンや大太鼓、トランペットなどの練習をして本番に挑みました。短い時間でしたが全員が近況報告をし、朗らかに楽しい時間を過ごすことができました。

責任ある世代として多忙な同級生が、会場作りから後片付けまで心合わせて協力し、本当に良い同期会を開くことができましたと思います。まさしく「みんなでつくろう、ぼくらの町を〜♪」という「希望の町」の歌詞そのものです。

先生方の温かいお言葉やご指導に触れることのできた喜びも無上のものでした。気持ちよく会場や設備を貸して下さった額賀校長先生、田口副校長先生と、いつも同期会を励ましてくださる同窓会事務局の皆様にも心より御礼申し上げたいと思います。

「小学校の同窓会が今も続いているなんて！」と友人も感嘆

－今年も“卒業60周年”を祝って開催－

平成26年度同期会幹事 鴨居和雄

昭和29年3月卒業の「同期会」を今年も5月27日、母校に近いレストランで開催、「卒業60周年（還暦）」という節目にふさわしい楽しい夕べとなりました。

開会前の「記念撮影」は、お店の前の階段が格好の“ひな壇”になり、良い写真を撮れました。都内、首都圏、静岡、愛知から32人が駆けつけ、海外在住（テキサス、ニューヨーク、オーストラリア）3名からは近況を知らせる手紙も寄せられました。

卒業時は3クラス147名で、担任は原田泰三先生・北城恒子先生（お二人とも故人）と小尾昭先生でした。84歳とは思えない、青年のような小尾先生からは、私たちが卒業記念に贈った「反射望遠鏡」の精巧な凹面鏡が数十年ぶりに母校で見つかったとの報告があり、一同感慨を新たにしました。

在校当時は、まだ学校の内外に空襲の傷跡が残り、校舎の地下は水浸しの状態のままでした。遊び道具も少ない中、ゴロベース、ドッジボール、相撲、追いかっこ、缶蹴り等で楽しんでいました。放課後には、ベルギー大使館跡地でチャンバ

ラごっこ、清水谷公園に足をのぼしてタニシやザリガニ採り、弁慶橋でボート乗り、新聞を作って豆記者になったり、開業前の日テレの「テレビ塔」に登ったりなど、“よく遊び、よく遊んだ”番町時代でした。そうした思い出が蘇ったので、あちこちで歓談の輪が広がり、中・高・大と進んでも、小学校の思い出が一番懐かしいと、語る友もいました。



途中で気分転換にと、“今の私たちのためになる話” (?) と題して、内科医（コツコツ真面目型、ひょうきんでもあった）と、弁護士（落語家志望、いつも明るかった）のスピーチをはさんで、あっという間の2時間半でした。

私たちは、ここ10数年、毎年5月に「同期会」を開いてきました。一部の人がいつも準備、運営するのではなく、幹事（各組男女1名ずつ選出）が毎年代わるので、それなりに工夫した内容になっています。

今回もオーストラリアからの便りには、『『小学校の同期会が今でも続いているなんて、何と珍しく、素晴らしいことだ』と、日本でも、またこの日本人からも言われます』と綴ってありました。

最後に、来年はもとより、6年後の東京オリンピック、7年後の番町小学校創立150周年を、共に元気で迎えようと約束して、再出発しました。

『笠原正樹先生を偲ぶ会』を 開催して

5組幹事 浜田敏男

平成24年2月、恩師笠原正樹先生が亡くなられ、お見送りする機会もないまま1年が経ちまし

た。一周忌となる平成25年2月9日、神田の「龍名館本店」にて先生のご子息泰吾様にもご出席頂いて、『笠原正樹先生を偲ぶ会』を開きました。当日、教え子の出席は15名、先生の御縁に導かれ8年ぶりのクラス会となりました。出席者は東京在住の者が中心でしたが、今回は『笠原先生を偲ぶ会』ということもあってか欠席者から多くのコメントが寄せられ、海外在住の同級生からも近況が届きました。

宴席では先生の思い出話が尽きず、半世紀近く前の小学校での出来事が最近のここのように皆の口から語られました。

先生はいつも優しく真っ直ぐな方でした。ある時、一人の男子が何を思ったのか、前の席に座っている女子の髪の毛をハサミで切ってしまいました。先生は泣きじゃくる女子を一生懸命なだめながら、いたずらな男子に正義の鉄槌を下しました。一事が万事、そうでした。私たちはそれを見て、ある子は心強く勇気が湧き、ある子は自分を顧みて行いを反省し、そうやって私たちは育ちました。今の世の陰湿ないじめや体罰とは、無縁の時代でした。また笠原先生が47年間、大切に保管して下さった私たち一人一人が書いた色紙を、ご子息がご持参下さいました。小学5年生だった私達の夢や抱負を、懐かしく楽しく皆で回し見ました。



会は皆の近況報告で盛り上がり、特にご子息が先生と同じ教職の道を歩まれている事を伺い、先生の在りし日の姿と重なって一層感慨深いものがありました。笠原正樹先生のご冥福をお祈りすると共にご子息泰吾様の益々のご活躍、そして同級生のこれからの健勝を祈念する一日となりました。

毎年開催、昭和14年度梅組クラス会

幹事 小林万寿夫、二之宮景光

恒例のクラス会を、平成25年4月13日（土）正午よりスクワール麴町のレストラン「Apian」で開催。遠路はるばる岡山から上京した高階、田辺両君、肺炎加療中の小沢君も「一寸だけでも顔を出したい」と、10名が参集しました。卒業時の60名が20名となった現在、10名の出席は大盛会というべきでしょう。

会場が四ッ谷駅前という懐かしい場所のため、皆さん早目に来て番町小や雙葉、迎賓館やお堀端など思い出の地を見学しました。岡田君、長島君、吉野君など近隣にあった家も、上智大学や近代的なビルに変わってしまいました。出席者の四谷今昔談に加え、久しぶりに参加した高階君の落語や笛の演奏、岡山に住みつく経緯と青年

教師時代の純愛物語などで大いに盛り上がりました。

今回欠席の闘病中諸兄の回復を、切に祈念致します。

今回は来年4月12日（土）、同じ会場で開催予定。また元気で集まりましょう。



平成25年度収支決算報告書

平成26年3月31日現在の貸借対照表（単位：円）

資産の部		負債の部	
手元現金	45,484	未払金、借入金等	0
定額貯金(郵貯)	4,800,000	資本の部	
普通貯金(郵貯)	1,827,683	事業準備引当金	4,800,000
普通預金(みずほ)	54,587	当期繰越金	1,927,754
資産合計	6,727,754	負債・資本合計	6,727,754

平成25年4月1日から平成26年3月31日までの収支計算書（単位：円）

収入の部

	平成25年度決算	平成25年度予算	摘要
前期繰越金	1,786,716	1,786,716	
卒業生入会金	68,000	69,000	平成25年度卒業生68名
会費および寄付	2,476,210	2,400,000	
グッズ売上	3,000	50,000	キーホルダー
利子、利息、他	1,318	1,000	
収入合計	4,335,244	4,306,716	

支出の部

	平成25年度決算	平成25年度予算	摘要
活動費	389,335	700,000	卒業記念品、会議、避難児童補助、U-20、番町子ども会、ホームカミングデー、事務局活動費
事務、印刷費	479,245	300,000	事務用品、封筒印刷
備品費	0	100,000	
通信費	715,036	800,000	送料、葉書
慶弔費	38,244	50,000	香典、生花、弔電
HP、インターネット費	5,790	500,000	ドメイン更新等
会報作成費	279,420	700,000	ニュース印刷等
雑費	420	6,716	振込手数料
準備金(定額貯金)	500,000	1,000,000	事業準備引当金
次期繰越金	1,927,754	150,000	
支出合計	4,335,244	4,306,716	

経理報告 平成25年度収支決算は上記の通り報告いたします。平成26年3月31日

経理 浜田 敏男
須藤 幸子

監査報告 上記に伴う預貯金通帳等、会計関係書類を監査いたしました結果、平成26年4月10日
正確かつ適正であることを認めます。

会計監査 虎岡 寛道
三宅 順仁

◎同期会、クラス会開催後、報告と写真を事務局にお送り頂くと一定の補助がございます。是非ご活用下さい。（詳細は事務局まで）

平成26年度予算

収入の部

(単位：円)

	平成26年度予算	平成25年度決算	摘要
前期繰越金	1,927,754	1,786,716	
卒業生入会金	60,000	68,000	平成26年度卒業生60名×1,000円
会費・寄付	2,300,000	2,476,210	
雑収入	3,000	3,000	グッズ売上
利息	1,200	1,318	
収入合計	4,291,954	4,335,244	

支出の部

(単位：円)

	平成26年度予算	平成25年度決算	摘要
活動費	400,000	389,335	卒業記念品、会議、避難児童補助、U-20、番町子ども会、ホームカミングデー、事務局活動費
事務、印刷費	500,000	479,245	文房具、封筒印刷
備品費	200,000	0	パソコン
通信費	800,000	715,036	送料、葉書
慶弔費	50,000	38,244	香典、生花、弔電
HP、インターネット費	600,000	5,790	HP作成等
会報作成費	700,000	279,420	会報印刷等
雑費	1,000	420	振込手数料等
準備金(定額貯金)	1,000,000	500,000	事業準備引当金
予備費	40,954	-	
次期繰越金	-	1,927,754	
支出合計	4,291,954	4,335,244	

題 字：故 内田禮江さん(昭和19年度卒)

校章デザイン：鈴木健之さん (昭和45年度卒)

◎平成26年度 同窓会 U-20

(平成18年度～平成26年度卒業予定の6年生)

日時：平成27年3月29日（日）14：00～
場所：番町小学校講堂

【ベルマークについて】

☆ベルマーク収集にご協力くださった皆様、有難うございました。 工藤純さん、蔵田隆之さん、遠藤努さん、中村香織さん

☆今後も愛育会のベルマーク収集に協力し、教育環境整備、教育設備充実のお手伝いをしたいと思います。

☆お手許で集めたベルマークは下記までお送り下さい。送料はご寄付頂ければ幸いです。

〒102-0085 千代田区六番町8 千代田区立番町小学校内 番町小学校同窓会事務局ベルマーク係

～ 特別寄稿 ～

番町小勤務時代を回想して

元校長・園長 小塚芳夫

私は、昭和16年、当時の東京府青山師範学校（現東京学芸大学）を卒業し、渋谷区大向小学校や東京第一師範男子部附属小学校（現、東京学芸大学附属世田谷小学校）の教諭を勤め、都の教育庁指導部の指導主事や初代の心身障害教育指導課長を勤務した後、昭和51年から6年間、千代田区立番町小学校長兼番町幼稚園長を勤めさせていただきました。

番町小学校は学制頒布された明治4年の創立。由緒ある名門校、任の重さを感じました。国内はもちろん、諸外国からの教育視察団がよく訪れました。赴任当初は先代の小山昌一校長、4代前の山口友吉校長がまだお元気で、しばしば学校を訪れ、学校経営の助言をしてくださいました。

番町小学校を退職して30年を経た今日でも、6年間の番町小での経験とその思い出は尽きません。

番町小学校の校章は、梅の花です。校歌の歌詞にも「われらがかざせるこの梅の花こそ心のしおりなれ」と歌いこまれています。梅は学問の神様と言われる菅原道真が、「東風吹かば 匂いおこせよ梅の花 主なしとて春を忘るな」と詠い、学校にふさわしい樹木です。番町の校庭には梅だ



110周年当時の小塚先生

けでなく、幼稚園の玄関わきに「泰山木」があり、白い大きな花をつけたのも思い出されます。当時の番町小学校、幼稚園には珍しい動物も飼われていました。幼稚園の東側の池には鯉、アヒルも飼われ、用務員さんや児童、園児がよく世話をしました。

番町小学校、幼稚園の先生たちは教育指導の改善充実に熱心で、研究授業をよく行いました。また、スポーツが好きで、放課後、業務を終わってから体育館ではピンポン（卓球）やバスケット（籠球）、校庭ではテニスなどを行い、私も若い先生方と汗を流して楽しみました。音楽の特別教室が2つもあり、音楽の専任教師のよき指導で合唱もブラバン演奏も上手でした。

6年間の在勤最後の年が番町小学校創立110周年にあたり、卒業生や父母等の協力援助を得て12月4日創立記念日を祝いました。記念式典には、皇太子殿下、皇太子妃殿下（現在の天皇、皇后両陛下）のご台臨を仰ぎ、式典でお言葉を賜り、式典の後、校庭での児童らの演技や図画工作などの作品展をご覧いただきました。その時の「記念誌」に写真などが掲げられており、ひもといでは感無量の思いです。

60歳で番町小学校長を退職してからは、私の兄が、生まれ育った故郷（現在の川崎市麻生区栗木）に設立した「桐光学園」（幼・小・中・高）の理事・校長を83歳まで勤め、番町小学校時代の教育経験を伝承いたしました。

現在91歳、おかげで元気。万歩計を携帯、1日に4000歩以上の歩行、余暇は、古典等の読書で老化防止に努めております。

(H24.10)

